

安心して暮らせる 地域を目指して

大竹市多職種連携協議会

問い合わせ (事務局) 市地域包括支援センター ☎1165

地域包括ケアシステムの構築には、医療と介護の連携が重要です。

高齢者と医療、高齢者と介護は共に深い関わりがありますが、医療と介護の関係は、それぞれの専門性が異なるため、連携が取りにくいとされてきました。

高齢者が、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるためには、医療と介護の連携が欠かせません。両者の「顔が見え、共通の言語で話せる」関係づくりが必要です。

市では、医療・介護・行政の3者が一体となってこの課題に取り組むため、平成25年6月に大竹市多職種連携協議会を設立しました。

多職種連携協議会とは

市内および近郊に住居または勤務している医師・歯科医師・薬剤師・看護師・保健師・社会福祉士・介護支援専門員など、保健・医療・福祉・介護にかかわる多くの専門職で構成された任意の団体です。

会員が互いに専門性を高めながら、地域の課題を探し、解決することで、住民が安心して暮らせる地域づくりを目指しています。
平成28年12月末現在の会員数は、136人です。

あなたの身近な
お医者さんや
ケアマネジャーも
参加しているかも



活動の内容

定期的な研修会を年4回程度開催し、会員自らの資質向上を図るとともに、互いの連携を深めるための活動をしています。

平成27年5月からは、新たな事業として「巡回よろず相談所」を行っています。

巡回よろず相談所とは

会員が市内の集会所などを訪問し、ミニ講座を行ったり、健康や介護、生活面での困りごとなど、さまざまな相談を受けています。

事業開始から約2年が経過し、市内の多くの地域で開催することができました。さらに多くの方に参加していただけるよう、総合市民会館などでも開催します。

専門職と気軽に話ができるよい機会です。相談がない方も、ぜひお越しください。(申込不要)

とぎ・ついで

- 3月2日(木) 14時～15時30分
総合市民会館
- 3月16日(木) 14時～15時30分
市役所本庁舎



多職種連携協議会では、今後も定期的に巡回よろず相談所を開催します。お住まいの地域で開催されたときは、ぜひ参加してください。また、団体などからの開催希望も受け付けていますので、事務局へ連絡してください。

おたすけ手帳を活用しましょう



地域資源マップ「大竹おたすけ手帳」は、高齢者向けにさまざまなサービスを提供している店舗などを紹介した冊子です。

多職種連携協議会の会員が、皆さんの役に立ちたいとの思いから作成しました。

大竹おたすけ手帳は、地域包括支援センター、保険介護課および各支所でお配りしています。また、ホームページにも掲載していますのでご覧ください。